



観察・検査機器共用時の安全性確保 - ヴィジョンエンジニアリング製品を 最大限に活用する

安全第一

特に問題の機器と密接に接触する場合、機器を共有するときにオペレーターを交差汚染から安全に保つことは、スタッフの健康を維持する上で重要です。

顕微鏡ユーザーの場合、DRV-Z1、Lynx EVO、およびMantisシステムの接眼レンズなしの設計により、感染した可能性のある接眼レンズに直接触れる危険がないため、オペレーターはステレオ3Dビューでより安全に作業できます。

接眼レンズのない設計のさらなる利点は、オペレーターがパフォーマンスの低下や視野の減少なしに安全メガネまたはバイザーを着用できることを意味します。これにより、技術者はパフォーマンスの品質を損なうことなく安全な作業を維持できます。

オペレーターの安全性に貢献するもう1つの要因は、DRV-Z1、Lynx EVO、EVO Cam II、およびMantisの設計に組み込まれた触覚です。これにより、オペレーターは手袋を着用しながらこれらのシステムを簡単かつ安全に使用できるようになり、特に共同作業環境での感染拡大のリスクがさらに減少します。

接続性

コネクティビティは、分散サイト全体で情報を共有し、コラボレーションを行い、生産性を向上させるための重要な利点です。そのため、当社の光学製品やデジタル製品の多くには、画像をキャプチャして共有するオプションが組み込まれています。

DRV-Z1

複数のサイト間でライブ3Dコラボレーションが可能な世界で唯一の高解像度デジタル実体顕微鏡。他のDRV-Z1システムにライブ接続して、3Dで他のDRVユーザーと連携したり、2D画面で非DRVユーザーと連携したりできます。3Dビューを静止画またはビデオとして記録して、より詳細で動きのある情報を得ることができます。他の多くのVision Engineeringシステムと同様に、DRV-Z1設定を1つのシステムで確立

多くの人にとって、スタッフ、サプライヤー、または顧客の安全に影響を与えずに作業を続ける能力は不可欠です。ここにあなたのビジョンエンジニアリング機器を最大限に活用するために、システムの概要を示します。これは、より安全な接続された作業に使用できます。

し、リモートユーザーと共有できるため、迅速なコラボレーションが大幅に促進されます。

ViCaptureには、静止画像やビデオキャプチャだけでなく、画像に注釈を付けるためのツールも含まれているため、サイト間の迅速かつ効率的なコラボレーションが促進されます。



EVO Cam II

EVO Cam IIは、HDMIおよびUSB3出力を備えており、ほとんどすべてのWebカメラパッケージを使用して画像をストリーミングできます。SkypeなどのソフトウェアはEVO Cam IIを自動的に検出し、Windows 10 Professionalシステムとの「プラグアンドプレイ」として機能します。また、他の場所にいる同僚とライブ画像を共有したり、どこにいても同僚に電子メールで送信できる静止画やビデオの画像を記録したりするのも簡単です。DRV-Z1と同様に、1つのEVO Cam IIで設定を確立して、他のユーザーと共有できます。これは、複数のサイト間で一貫性を確保することにより、コラボレーションを支援します。



Lynx EVOとSmartCamおよびMantis Elite Cam HD

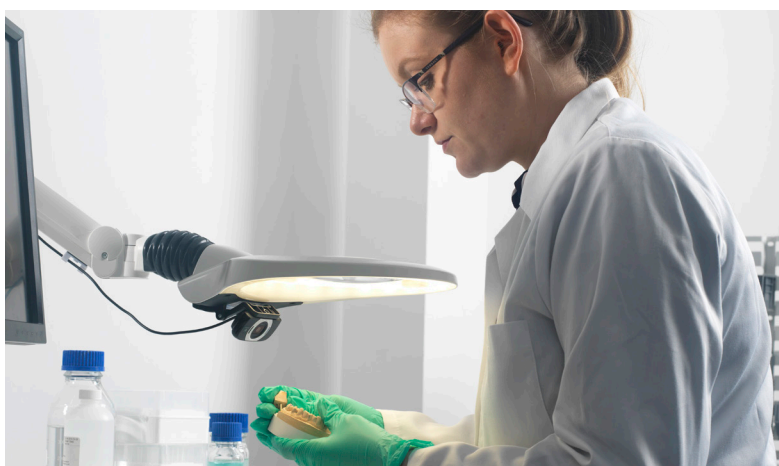
Lynx EVO (SmartCamまたはSmartCam5搭載) およびMantis Elite Cam HDにはViCaptureソフトウェアが搭載されており、シンプルで高品質の画像キャプチャが可能です。ライブ接続が必要な場合は、Skypeなどのユニバーサルウェブカメラアプリケーションを使用して画像を共有できるようにシステムを設定するだけです。



BenchKam

ベンチ拡大鏡のユーザーは、BenchKamをWave LEDまたはCircus LED拡大鏡に追加するだけで、接続された作業を利用することもできます。プラグアンドプレイのウェブカメラとして機能し、Skypeやその他のストリーミングおよび会議ソフトウェアを介してライブで画像を共有できます。

ベンチ拡大鏡のユーザーでも、BenchKamを追加するだけでコネクテッドワーキングのメリットを享受できます。



コネクテッドワーキングのさらなる利点：

- 環境リスク要因への暴露の減少
- 直接出席する必要がない、部品とプロセスの検証の高速化
- 迅速な解決につながる問題の迅速な理解
- 移動時間とコストの削減
- 家にいなくても、個人のコストを削減
- 旅行要件の削減による環境への影響の低減
- 静止画像と動画画像の簡単な記録と呼び出し
- ワークステーションを離れることなく効率的なコラボレーション

リモートコラボレーションとビジョンエンジニアリング検査システムとの連携作業の詳細については、最寄りのビジョンエンジニアリングオフィスまたは担当者にお問い合わせください。